



▲原画でしかわからない雰囲気があります

冬の朝、海岸から遠く離れた我が家にも「ポーポー」と汽笛が聞こえてきます。瀬戸内海にはもやがかかっているのでしょうか。昔は2階の窓から、きらきら光る海がみえたものでしたが、今はもう見えなくなりました。まちの発展とともに家々が立ち並ぶ活気ある街並みとなりました。今年も災害のない、静かな海と平和なまちであることを願いつつ…。

◆11月29日、駅西、新池自治会の住民の方々に「土山駅南町有地活用」についての説明会を実施しました。当日は両自治会から多くの方々のご出席をいただき、今後の土地活用の方針などについて説明(内容は今月号に掲載)し、土壌汚染の改良工事、新たにできる商業施設、駐車スペース、公共スペースなどの確認、要望など、熱心なご意見をいただきました。今後の事業実施において参考にさせていただきたいと思えます。

◆11月30日に兵庫県立加古川医療センターで兵庫県南部ドクターヘリ就航式がありました。運行範囲は主に播磨地域と丹波南部地域で、119番を受けた消防機関から、出動を要請します。当日は雲一つない快晴で、真新しい機体が医療センターの上空を旋回するデモンストラクションもありました。この就航により、いち早く救命医療が行われ、救命率の向上や後遺症軽減ができることが期待されます。しかしながら必要とする事態にならないよう、健康で元気な毎日を過ごしたいものですね。

◆12月8日、「こころふれあう市民のつどい」を開催。今年はラジオパーソナリティの谷五郎さんにトークショーとライブをしていただきました。ユーモアあふれる軽妙なトークは会場を大いに沸かせましたが、同時に開催された「人権啓発カレンダー」の原画展も多くの方々に見ていただきました。今年もご活用くださいね。

播磨町長 清水ひろ子

播磨町技能職者表彰が、3人の方に贈られました

住民グループ ☎079(435)2364

平成25年度播磨町技能職者表彰の表彰式が11月18日、町長室で行われました。今年の実績者は次の方々です。

荒井 陽児さん(大中) 理容

昭和53年開業以来、理容店を営むかたわら、厚生部部長、野球部部長として組合活動に尽くされ、若い理容師たちへの技術指導だけでなく、いろいろな相談に乗っておられます。部長を引退後も、若い理容師たちのお手本となるべく組合活動に大いに貢献されています。

上津 千年さん(古宮) 内装仕上工

小林住宅にて見習い職人として勤めた時代に、内装仕上の技術を習得されました。現場にあった納め方にこだわり、クロスをただ張るだけでなく、お客さまの気持ちになって張ることを常に心がけておられます。誠実な人柄で周囲の人望も篤く、その仕事ぶりは多くの施主から喜ばれています。

渡邊 俊英さん(北本荘) 建築大工

昭和50年から建築会社で現場監督などとして従事されていましたが、阪神淡路大震災で多くの木材家屋の倒壊現場を見たことから、大工に転職され現在に至っておられます。震災の経験から身近な大工さんとして仕事に接する姿勢は、お客さまや仕事仲間からの人望も篤く、大きな信頼を得ています。



▲表彰おめでとうございます

楽屋裏
表紙の写真を撮影するために播磨西幼稚園の餅つきにお邪魔しました。子どもたちと話をしていると、自分で丸めた餅を袋に詰めながら、「弟や妹に食べさせたい」と話してくれたら、杵を持つ父親のことを「パパは力持ちなんだよ」と友達に自慢したり、「私のおばあちゃんもお手伝いに来てよ」と教えてくれたりしました。大好きな家族のことを思う子どもたちの笑顔とふれあえて、とても幸せな気持ちになりました。(宮)

ともしびの賞を宮下美代子さんが受賞

生涯学習グループ ☎079(435)0565

永年にわたり茶華道文化の普及と継承に寄与するとともに播磨町文化協会副会長として団体の発展に貢献するなど地域文化の向上に尽くされた功績により、宮下美代子さん(東本荘)が、ともしびの賞を受賞されました。



11月19日に兵庫県立美術館で贈呈式が行われ、県知事より表彰状と記念品が贈られ、宮下さんは受賞者の代表として、壇上でお礼のあいさつをされました。※この賞は、播磨町では宮下さんで5人目となります。

播磨町シニアクラブ連合会が表彰されました

福祉グループ ☎079(435)2361

平成25年度全国老人クラブ大会が10月1日・2日に岩手県盛岡市で開催され、優良老人クラブ連合会表彰を、播磨町シニアクラブ連合会が受賞しました。

播磨町シニアクラブ連合会は、昭和35年に誕生して以来、永年にわたり活気あふれるクラブとして活動してきました。報告のため町長を表敬訪問された会長の田中譲治さんは「今後も地域づくりの発展につながる活動をしていきたいです」とお話しされました。



山元町からの手紙

今月は11月23日に行われた山元町ふれあい産業祭の様子をレポートします。

震災後初めて水揚げされたホッキ貝が登場し、ついに山元町特産品3トップ「いちご、りんご、ホッキ貝」が勢ぞろい!来場者は待ちに待った復興の味覚を楽しんでいました。また、全国各地の特産品ブースも多数出展。播磨町は、特産品の海苔の販売と合わせて、大中遺跡まつり来場者から



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亘理郡山元町に派遣されています

いただいた山元町へのメッセージ付き写真も展示しました。りんごを楽しみ、応援する播磨町の様子、山元町の方々に届いたかなあ。 廣岡千春

瑞宝単光章 亀田龍昇さん(上野添)



亀田さんは、昭和55年12月に民生委員・児童委員を委嘱されてから、以来32年という長きにわたり、地域の生活困窮者、高齢者、障がい者などの要援護者や児童のいる家庭の身近な相談・支援者として活動し、社会福祉の増進に努められました。

町長からのお祝いの言葉に、亀田さんは、「地域の皆さんから応援していただき、良くしてもらえた結果です。感謝の気持ちでいっぱいです」と受章の喜びを語ってくれました。

瑞宝双光章 危険業務従事者叙勲

塚本武征さん(北本荘)



塚本さんは、平成13年までの40年間、兵庫県警に奉職されました。責任感と行動力のある警察官として、外事課、水上警察、銃器対策課などに勤務されました。

「日頃からの情報収集と関係部署との連携により、難しい事件にも対応することができました。また、私と家庭を支えてくれた妻にも改めて感謝したい」と、話されました。

わんぱくはりまっこ



もろ はるね ゆうき
茂籠 晴音ちゃん、勇希くん
(北本荘)

これからもずっと仲良し兄妹でいてね。
(パパ、ママより)